

通信 NO125 「新たな医療提供体制の整備」続報

5月末までの「病床・宿泊療養施設確保計画」の見直し・増減

厚生労働省は、3/24「事務連絡」を发出し、「第4波」に対応する「新たな医療提供体制の整備」を5月末までに確保することを求めました。実際には4月直後から「第4波」が急激に拡大し、医療提供体制の拡大は感染拡大対応には充分間に合いませんでした！しかし、各県は一定の「確保計画」を見直し、3月末までの病床・宿泊療養確保と比較すると、一定数の増加が進みました。全国の一覧表を作成し、増減を比較しました。(裏面に全国一覧表)

*なお、データは、厚労省発表の毎週木曜日の0時現在の「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況、病床数」より

1) **受入確保病床数** は、4,493床増加！

<3月まで30,450床⇒5月末34,943床(人口10万人当たり27.5床)>

しかし、4県(岩手・茨城・愛媛・長崎)は確保病床を削減！

4～5月の「最高時入院患者数」は、**全国合計18,755人(確保病床の53.7%)**に！

そして、確保病床の使用率が70%を超えるワーストが11府県に及んでいます。

ワースト順位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	全国
都道府県	大阪	沖縄	山口	徳島	和歌山	長崎	滋賀	岡山	福島	福岡	石川	平均
%	80.0%	76.9%	73.6%	73.1%	73.0%	72.9%	70.9%	70.7%	70.6%	70.4%	70.3%	53.7%

ワースト1位は大阪(80.0%)で、9位福島(70.6%)、11位石川(70.3%)を除いて、西日本側に偏っています！

2) **重症患者受入れ病床数** は、579床増加！ <3月まで4,248床⇒5月末4,827床>

しかし、8県(北海道・岩手・秋田・和歌山・山口・愛媛・熊本・鹿児島)は重症病床を削減！

4～5月の「最高時重症入院患者数」は、**全国合計2,054人(確保重症病床の42.6%)**に！

そして、確保重症病床の使用率が60%を超えるワーストが6府県に及んでいます。

ワースト順位	①	②	③	④	⑤	⑥	全国
都道府県	奈良	兵庫	大阪	愛媛	沖縄	愛知	平均
%	84.4%	74.3%	64.6%	63.2%	62.7%	61.6%	42.6%

3) **ホテル等宿泊療養施設確保室数** は、8,095室増加！

<3月まで29,933室⇒5月末38,028室(人口10万人当たり29.9室)>

しかし、4都県(青森・東京・富山・鳥取)は削減！

4～5月の「最高時確保室使用者数」は、**全国合計12,431人(確保室数の32.7%)**に！

そして、確保室数の使用率が50%を超えるワーストが4都県に及んでいます。

ワースト順位	①	②	③	④	全国
都道府県	徳島	福島	岡山	東京	平均
%	66.3%	59.8%	55.4%	53.1%	32.7%

4) **1日当りの「現感染者数」** 最高時の全国合計は、83,290人に達し、**実数のワースト5都道府県**は、

ワースト順位	①	②	③	④	⑤	全国
都道府県	大阪	北海道	東京	愛知	福岡	合計
人数	21,900	7,589	7,224	6,066	5,835	83,290

また、「人口1万人当りのワースト順位」では、

ワースト順位	①	②	③	④	⑤	⑥	全国	
都道府県	大阪	北海道	沖縄	福岡	兵庫	愛知	平均	東京
人数	24.8	14.1	13.3	11.4	9.0	8.1	5.6	5.3

東京は、全国平均5.6人よりも低い5.3人となっています！

5) 「**自宅療養者数**」の「最高時」合計は**43,021人**で、ワーストは①大阪(15,031人)、②北海道(6,018人)、③愛知(4,260人)、④福岡(3,850人)、⑤東京(2,236)となっており、大阪がダントツで多くなっています。

